



「2021年3月期決算」 「新・中期経営計画」 説明会

東証1部 3837



代表取締役社長 上田 富三₁

2021年5月27日

アドソル日進 代表取締役社長の
上田 富三 でございます。

本日は、
「5月11日」に、公表しました、
「2021年3月期決算」と、
「新・中期経営計画」の説明会に
ご参加いただき、まことにありがとうございます。

第 1 部 2021年3月期 決算概要

第 2 部 新・中期経営計画

2

本日は、先ずはじめに、
「第1部」にて、
「2021年3月期」の決算概要をご説明し、

次に、
「第2部」では、今期よりスタートした、
「新・中期経営計画」について、
ご説明いたします。



それでは、先ず、
「2021年3月期」の、決算概要をご説明いたします。

売上・利益 過去最高!!

売上高	135億18百万円 (前期比 + 1.5%)
営業利益	12億85百万円 (前期比 + 5.9%)
配当	35円 (前期比 + 3円 増配)

セグメントの状況

- **社会インフラ事業** : **エネルギー**(電力・ガス) 拡大
- **先進インダストリー事業**: **制御システム**(次世代EV自動車等) 計画通り

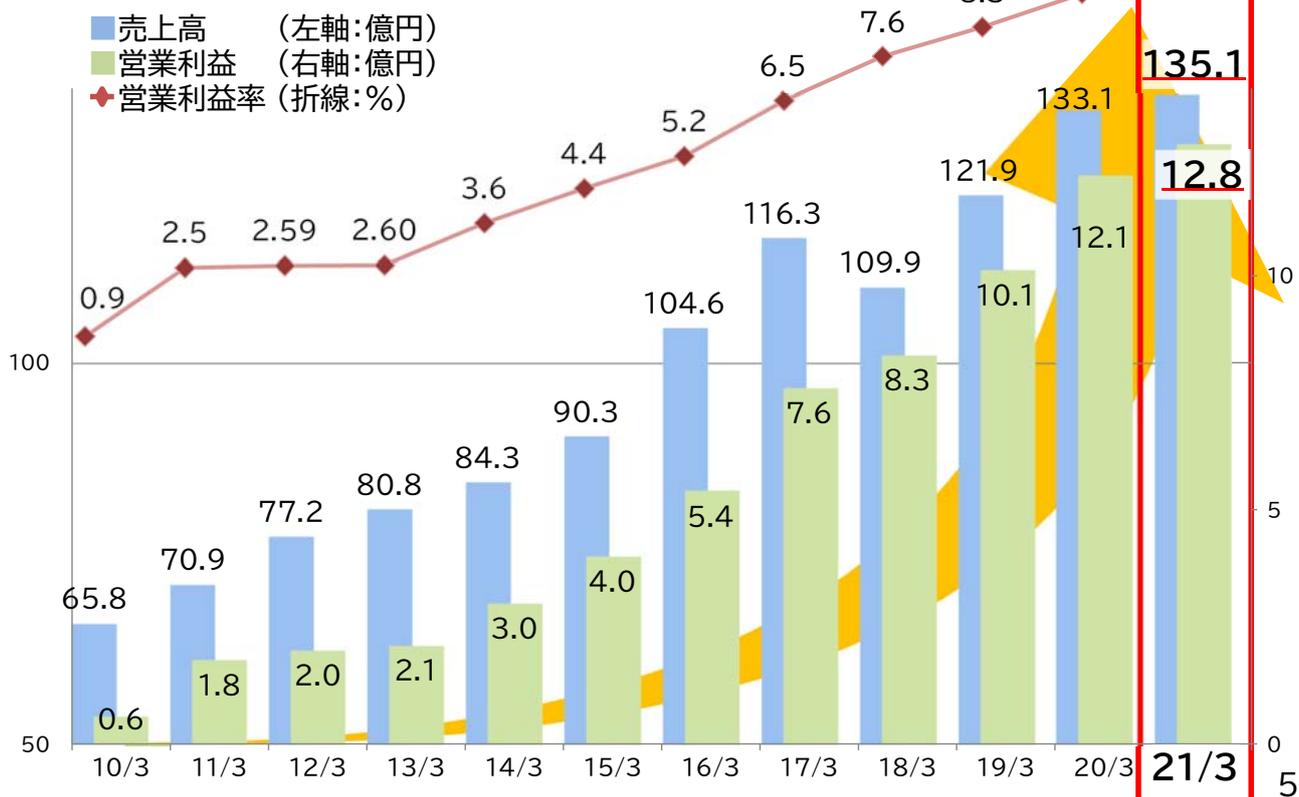
4

「2021年3月期」の業績総括です。

「社会インフラ事業」における、
電力・ガスの、エネルギー分野が拡大したことから、

売上高 : 「13,518百万円」、
営業利益: 「1,285百万円」と、
「売上高・営業利益」とともに、「過去最高」を更新しました。

◆ 11期連続 増益／利益率アップ



続いて、業績の推移です。
「2010年」から「11期連続」となる増益と、
利益率の向上を、達成しております。

電力・ガスのエネルギーを中心とした社会インフラと、
自動車、メディカルなどの先進インダストリー、
そして、
セキュリティや、GIS:地理情報システム、近距離無線などの
当社オリジナル・ソリューションで着実に成果が出ております。

今後も、増収・増益と、収益性の向上に
継続して取り組んでまいります。

◆営業利益率: **9.5%** (過去最高!!)

(単位:百万円)	2020/3		2021/3		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	13,315	-	13,518	-	203	1.5
社会インフラ事業	8,069	60.6	8,585	63.5	515	6.4
先進インダストリー事業	5,245	39.4	4,933	36.5	△312	△6.0
売上総利益	3,284	24.7	3,329	24.6	45	1.4
販売管理費	2,070	15.5	2,044	15.1	△25	△1.2
営業利益	1,213	9.1	1,285	9.5	71	5.9
経常利益	1,236	9.3	1,314	9.7	78	6.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	824	6.2	898	6.6	74	9.0

(注1)・2021年3月期より、アドソル・アジア株式会社(100%子会社、2020年4月1日事業開始)を、連結対象に追加しております。
このため、本決算説明資料内における2020年3月期の決算数値は、親会社単体の数値を参考記載しております(比較値においても同様)。
(注2)・2021年3月期より、旅行関連を、ビジネス・技術面から親和性の高い先進インダストリー事業にセグメント変更しております。
このため、2020年3月期のセグメント別売上は、旅行関連を組み替えた数値を記載しております。

次に、損益計算書の概要をご説明いたします。

営業利益率は、「9.5%」と、「0.4ポイント」アップしました。

コロナ対策として、
技術者の安全に配慮した開発の推進や、
テレワークに対応した
ニューノーマル・ソリューションの開発など、
積極的な追加投資を行いましたが、
営業利益率は、過去最高となりました。

セグメント別売上高

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー (電力・ガス)
- ◆ 先進インダストリー事業: メディカル、次世代自動車 (先進EV、自動運転)、決済

	2020/3		2021/3		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位:百万円)						
売上高	13,315	-	13,518	-	203	1.5
社会インフラ事業	8,069	60.6	8,585	63.5	515	6.4
エネルギー	6,863	51.5	7,309	54.1	446	6.5
交通・運輸	524	3.9	523	3.9	△0	△0.2
公共	160	1.2	197	1.5	37	23.0
通信・ネットワーク	521	3.9	554	4.1	32	6.3
先進インダストリー事業	5,245	39.4	4,933	36.5	△312	△6.0
制御システム	1,943	14.6	1,889	14.0	△54	△2.8
基盤システム	2,752	20.7	2,517	18.6	△234	△8.5
ソリューション	550	4.1	526	3.9	△23	△4.2

続いて、セグメント別の概要です。
 社会インフラ事業では、
 エネルギー分野のガス関連が、好調に推移し、
 先進インダストリー事業では、
 制御システム分野の、次世代自動車が、
 計画通り推移しました。

それでは、次項以降で詳細のご説明をいたします。

受注状況

■ エネルギー

● 電力: 自由化後のシステム更新需要、新領域など

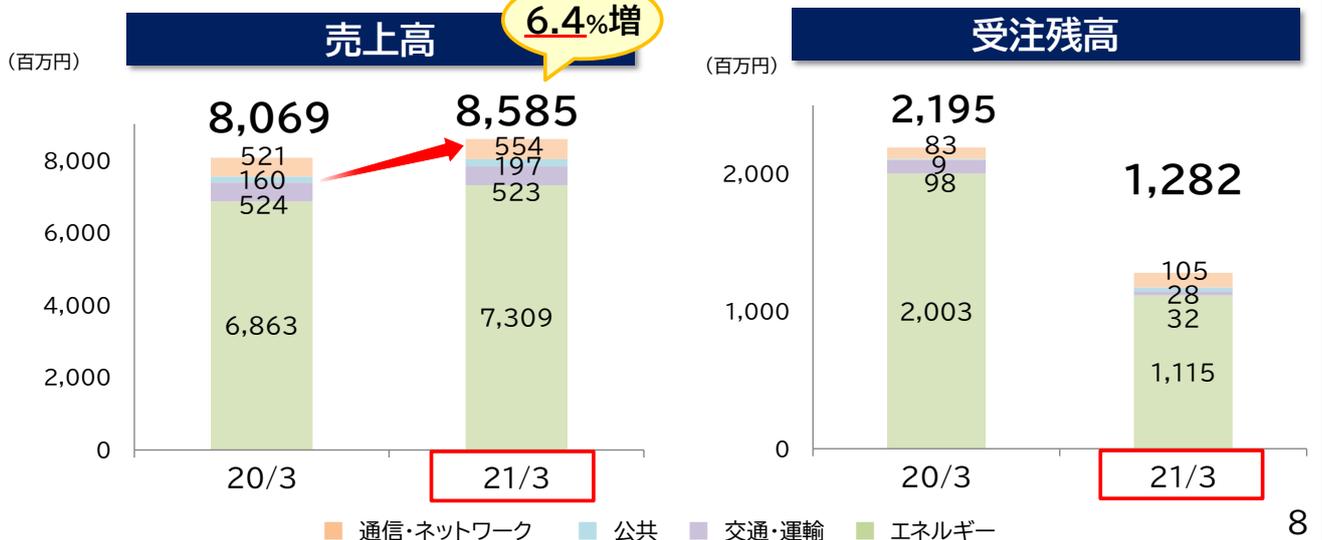
● ガス: 分社化対応、基幹システム、DX/効率化テーマ

■ 交通・運輸

● 宇宙関連: 計画通り推移

■ 通信・ネットワーク

● 次世代通信(5G): 継続



社会インフラ事業では、

- ・エネルギー分野は、ガス会社の分社化対応が、大きくけん引した他、顧客サービス関連で、DXや、効率化をテーマにした旺盛な需要を取り込み拡大しました。
- ・交通・運輸分野では、中期的な成長のカギとなる宇宙関連が、計画通り推移しました。
- ・通信・ネットワーク分野では、5Gの取り組みを、継続しております。

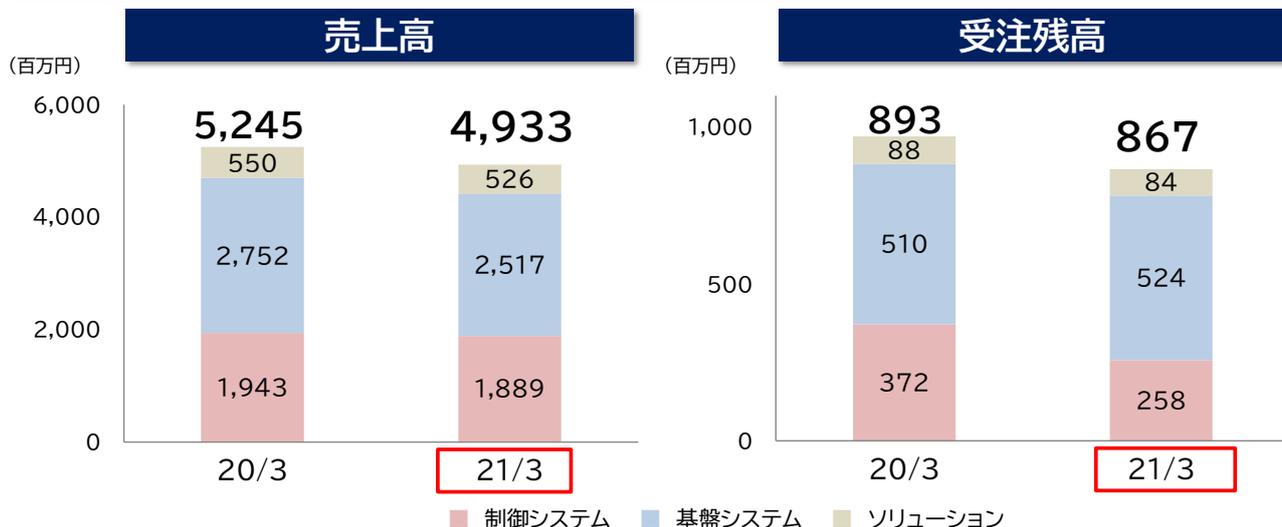
結果、売上高は

「6.4%」増の、「8,585百万円」となりました。

受注残高は、前期に、ガス会社の大型分社化案件を受注したことから、減少しておりますが、この大型案件の影響を取り除いた場合、前期並みの受注残高を確保しております。

受注状況

● 制御システム	● <u>次世代自動車、IoT基盤等</u> : 計画通り
	● <u>メディカル・ヘルスケア</u> : 一部開発スケジュールで延期
● 基盤システム	● <u>決済基盤関連</u> : 計画通り・対応領域拡大
	● <u>サービス関連</u> : 一部で縮小・延期
● ソリューション	● <u>LynxSECURE</u> : <u>自治体テレワーク:セキュア・ラップトップ</u> ・実証実験 継続(兵庫県・芦屋市) ・提案活動 推進(全国自治体、民間企業)
	● <u>GIS(地理情報システム)</u> : ソリューション強化・拡充

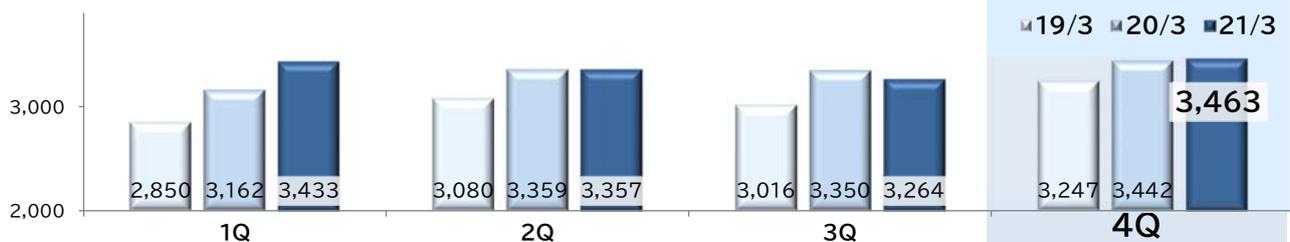


続いて、先進インダストリー事業です。

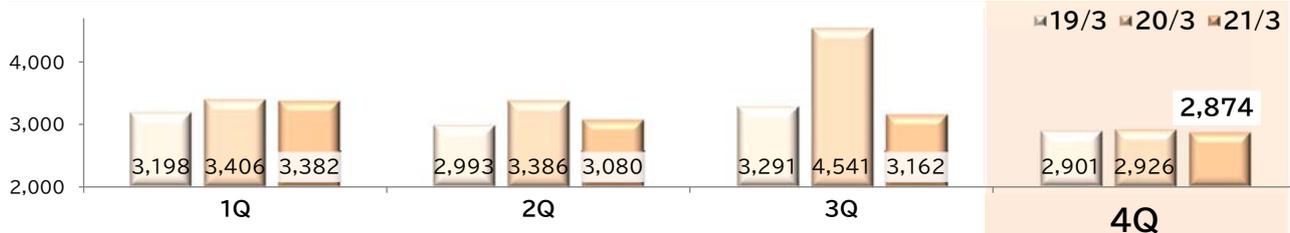
- ・制御システム分野では、
先進EV・自動運転等の次世代自動車関連が、
計画通り推移しましたが、
メディカル関連で、一部開発スケジュールに延期がありました。
- ・基盤システム分野では、
一部サービス関連で、縮小・延期がありましたが、
決済基盤関連で、対応領域の拡大に取り組みました。
- ・ソリューション分野では、
テレワーク・ソリューションの「セキュア・ラップトップ」の、
兵庫県・芦屋市様での、実証実験に継続して取り組み、
また、全国展開に向けた提案活動も、積極的に行いました。

以上の結果、
売上高は、「4,933百万円」、
受注残高は、「867百万円」となりました。

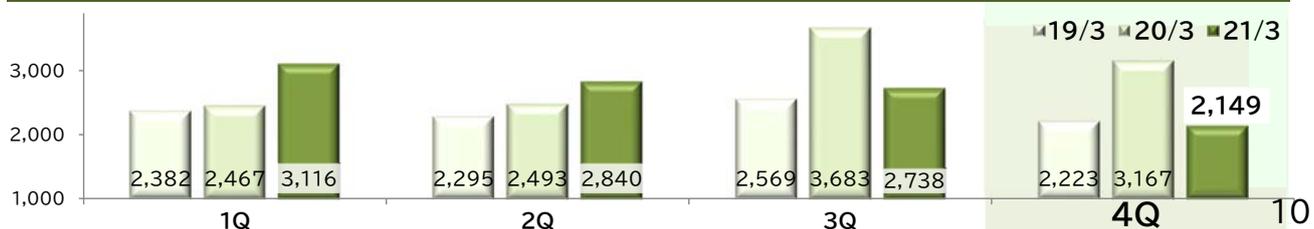
売上高



受注高

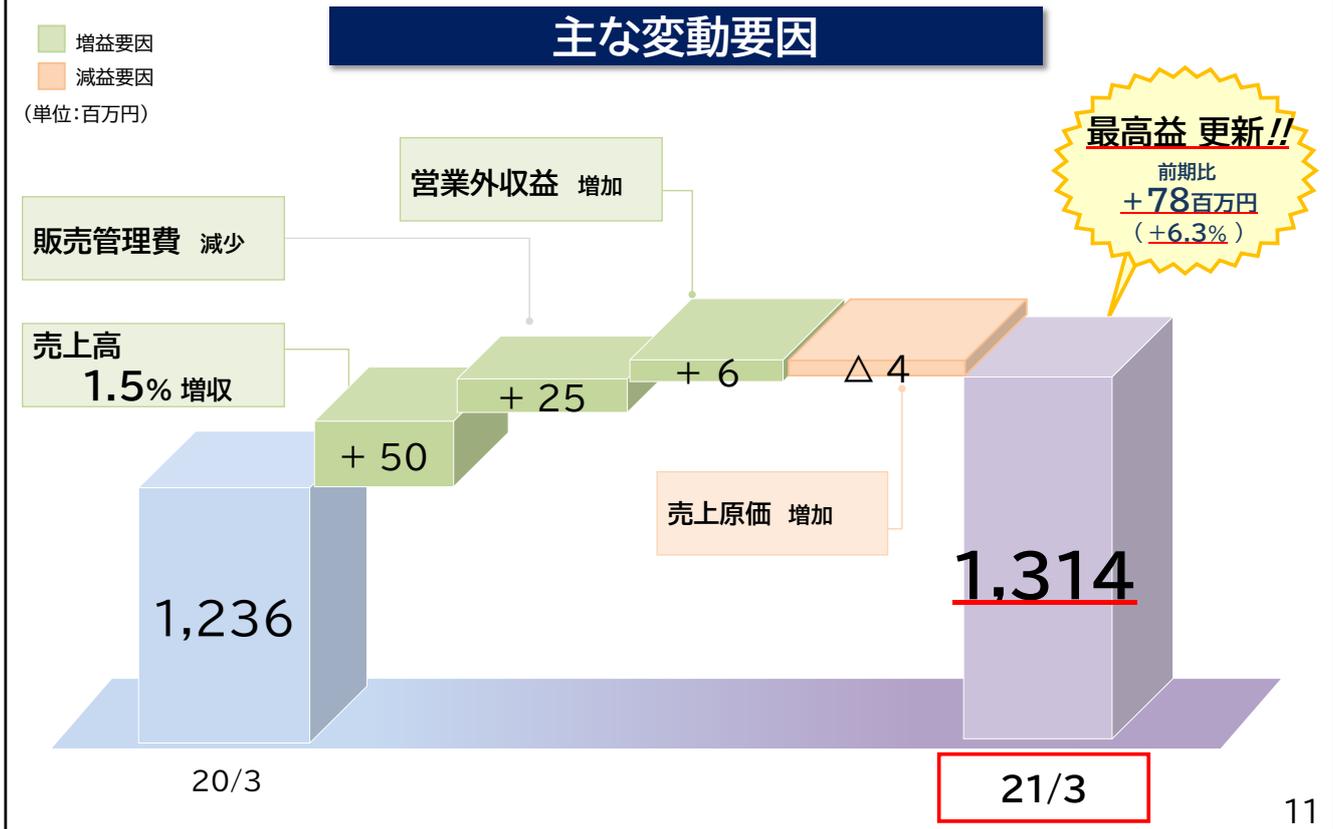


受注残高



四半期毎の売上高、受注高、受注残高は、ご覧の通りです。

なお、受注残高は、先ほどご説明申し上げた通り、前期に、ガス会社の大型分社化案件を受注したことから、減少しておりますが、この大型案件の影響を取り除いた場合、前期並みの受注残高を確保しております。



続いて、経常利益の分析です。

増収効果や販売管理費の減少等により、「1,314百万円」と、過去最高を更新しました。

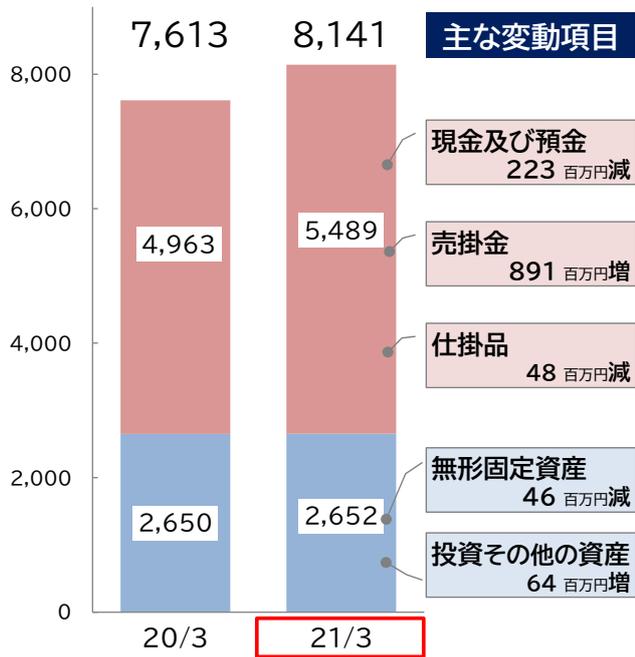
なお、販売管理費は、新入社員研修の、期間延長や、リモートワーク環境の、追加投資がありましたが、リモートを活用した業務推進により、コストを削減することができました。

貸借対照表（前期末比較）

資産

●総資産：**81億円**

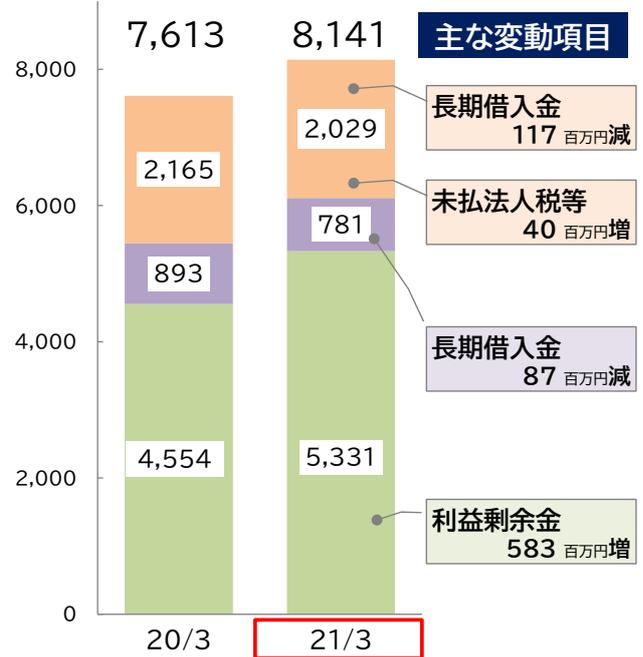
(単位:百万円) ■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産

●自己資本比率：**64.0%** (+5.7P)

(単位:百万円) ■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



貸借対照表は、
ご覧の通り健全な状況を保っております。

概要

(単位:百万円)	20/3	21/3	変動要因	
営業活動	1,208	187	・税引前当期純利益	1,343
			・たな卸資産の減少	49
			・減価償却費	90
			・法人税等の支払	△434
			・未払金の減少	△25
			・売上債権の増加	△805
			・仕入債務の減少	△57
投資活動	△596	△6	・有形固定資産の取得による支出	△17
			・投資有価証券の売却による収入	22
			・敷金及び保証金の差入による支出	△5
財務活動	△85	△481	・長期借入金の返済による支出	△205
			・配当金の支払額	△313
現金及び現金同等物の 期末残高	1,899	1,675		

13

キャッシュ・フローの状況は、
ご覧の通りです。

以上が、
「2021年3月期」の決算概要です。

イノベーションで未来を共創する
エンジニアリング企業へ

新・中期経営計画

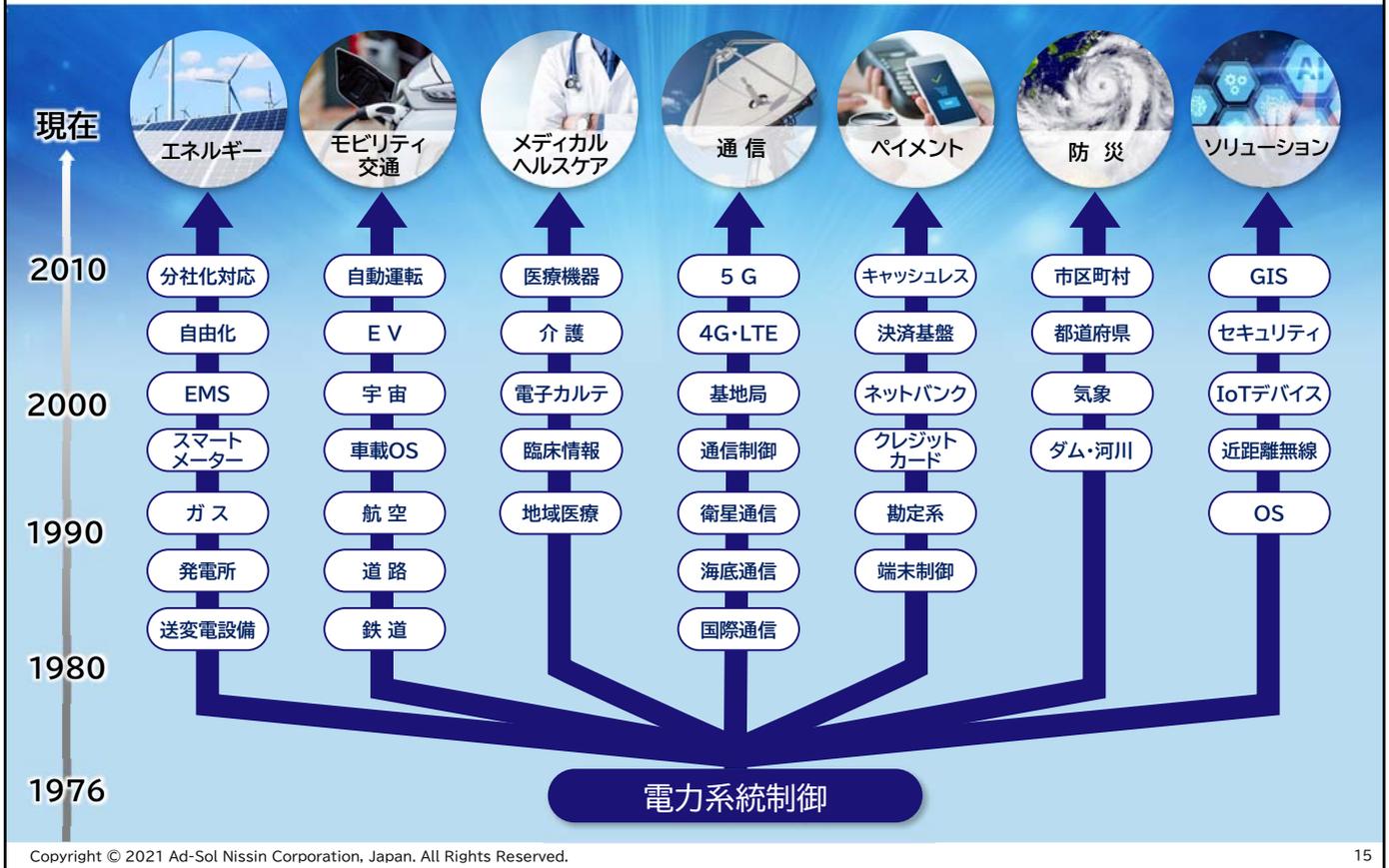
(2021.4~2024.3)



14

それでは、これより、
「創立50周年」の節目となる「2026年3月期」に向けた
「Vision2026」と、「新・中期経営計画」の概要を
ご説明いたします。

進化する“事業領域”



Copyright © 2021 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

15

当社は、「1976年」、
 電力の系統制御システム開発より事業をスタートし、
 以来、「45年」にわたり
 高い技術力と、高品質なシステム開発力を強みに、
 先進的なテクノロジーの提供と、
 数多くの大規模プロジェクトでの実績を通じて、
 お客様の信頼を獲得し、
 ご覧の通り、事業領域を拡大してまいりました。

安心・安全・快適・環境の“ICTソリューション”と“先進テクノロジー”



エネルギー（電力・ガス）

- 系統・制御
- 新電力
- スマートメーター
- EMS
- 託送システム
- 顧客管理



モビリティ・交通インフラ

- 次世代自動車
- 鉄道
- 航空
- 宇宙



メディカル・ヘルスケア

- 電子カルテ
- 介護施設
- 医療機器
- 地域医療



通信

- 5G無線基地局
- ローカル5G
- オペレーションシステム



ペイメント

- クレジットカード
- 決済基盤
- キャッシュレス対応



防災

- 自治体防災
- 気象
- 流域治水・ダム監視

現在では、

- ・ 電力・ガスの、「エネルギー」、
- ・ EVや、自動運転などの、「モビリティ・次世代自動車」、
- ・ 航空、宇宙、鉄道などの、「交通インフラ」、
- ・ 医療、介護関連の、「メディカル・ヘルスケア」、
- ・ 5Gなどの、「通信」、
- ・ クレジットカードや、決済基盤などの、「ペイメント」、
- ・ 都道府県、市区町村の、「防災」など、

暮らしと社会に密接にかかわる幅広い領域で、
安心、安全、快適、環境をキーワードに、
先進的なICTソリューションの提供を通じて、
豊かな社会の発展に貢献しております。

未来社会の実現に求められる、アドソル日進の“提供価値”



未来社会の到来に向けては、
 カーボン・ニュートラル、スマートシティ、先進医療、
 ビヨンド5G、スマート・ペイメント、レジリエンスなど、
 新たなICT需要が増加し、
 当社への期待は、ますます高まっていくものと考えております。

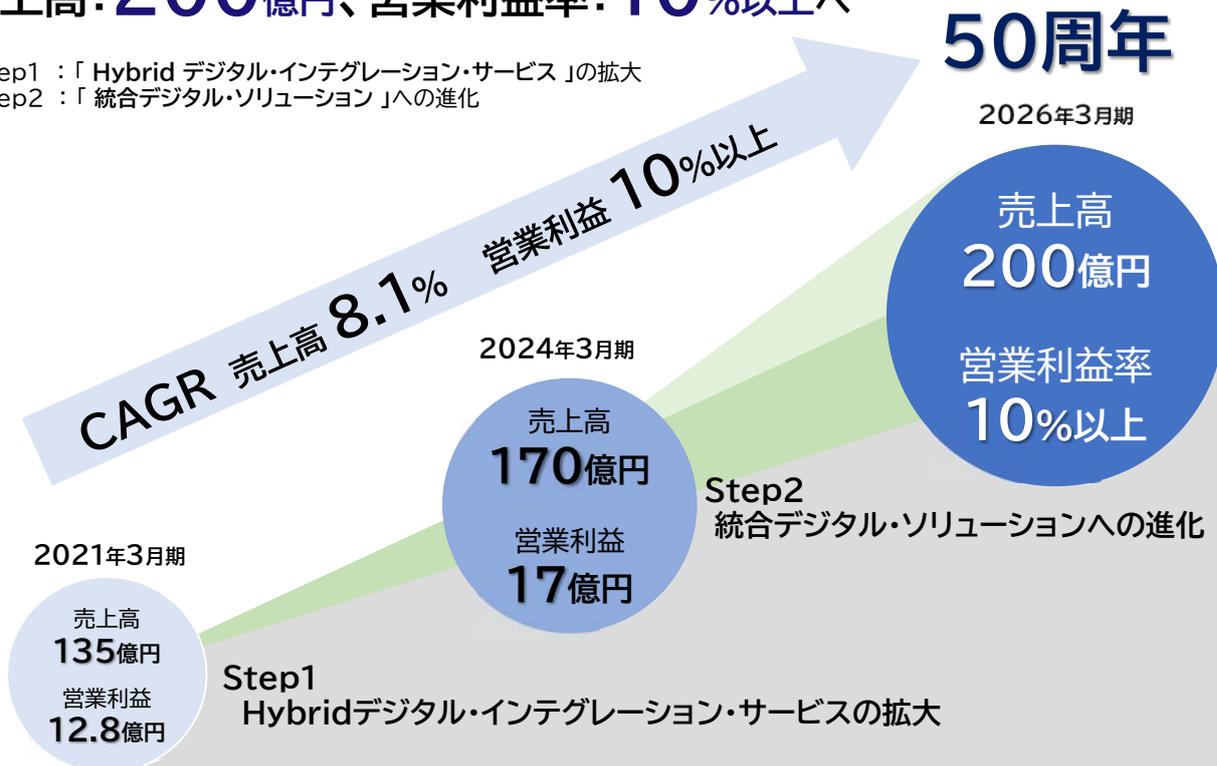
このような市場ニーズにお応えすべく、
 社会インフラのICTシステム領域では、
 プロジェクトマネジメント力や、技術力、品質力と、
 グローバル開発体制を強みに、
 大規模システムの、安定的な提供に取り組んでまいります。

また、先進的なテクノロジーの提供では、
 米国サンノゼのR&Dセンターや、産学連携による、研究開発を通じ、
 AIや、セキュリティ、開発モデルの創造と、
 当社独自のソリューション提供に、取り組んでまいります。

これらの活動を通じて、
 持続可能な社会(サステナブルな社会)の実現に
 貢献してまいります。

売上高: **200**億円、営業利益率: **10%**以上へ

Step1 : 「Hybrid デジタル・インテグレーション・サービス」の拡大
Step2 : 「統合デジタル・ソリューション」への進化



CAGR:年平均成長率 (Compound Annual Growth Rate) 設定期間(2021年3月期~2026年3月期目標)の平均成長率

Copyright © 2021 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

18

このような市場環境の下、
このたび、「1976年」の創業から、「半世紀」を迎える
「2026年3月期」を 節目として
「新たなビジョン」と、「新・中期経営計画」を、策定しました。

まず、「2026年3月期」の「新ビジョン(Vision2026)」は、
「売上高:200億円」、
「営業利益率:10%以上」と、いたしました。

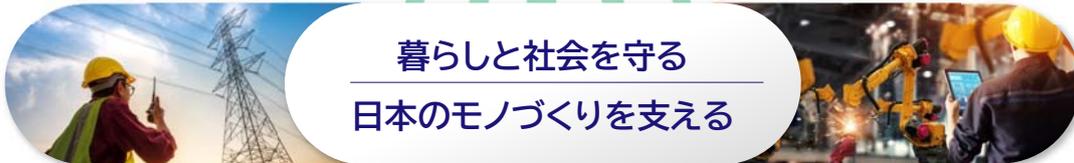
このビジョンの実現に向け、

まず、「ステップ1」では、
当社が得意とする、大規模・システム・インテグレーション・サービスに、
先進的なデジタル・テクノロジーと、高速開発やクラウドを統合した、
当社独自の「Hybrid・デジタル・インテグレーション・サービス」の提供に取り組み、
顧客における、ビジネス変革と、サービス提供の早期化に貢献します。

更に、「ステップ2」では、
当社オリジナルの、最先端コア・テクノロジーである、
セキュリティ、地図情報、IoTを活用した、Valueソリューションを融合することで、
「統合デジタル・ソリューション」へと進化させ、
お客様の、更なるイノベーションに貢献すると共に、
「Vision2026」の達成を目指してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【イノベーションで未来を共創する
エンジニアリング企業へ】



社会インフラ



最先端テクノロジー



Copyright © 2021 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

19

「新・中期経営計画」の、スローガンは、
「イノベーションで未来を共創する エンジニアリング企業へ」
と、いたしました。

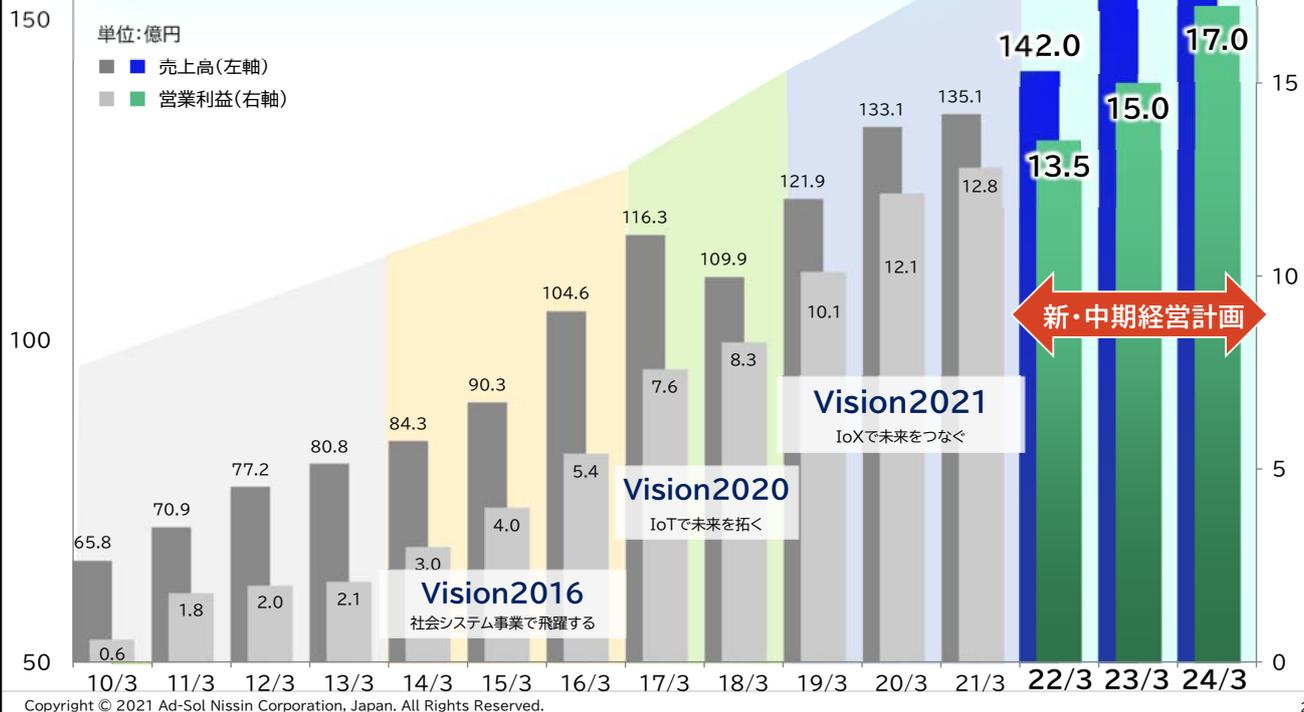
暮らしと社会を守る、社会インフラのICTシステムと、
日本のモノづくりを支える、
最先端テクノロジーの提供を通じて、

安心、安全、快適、環境につながる
SDGs:持続可能な社会の実現に向け、

お客様と共に、
イノベーションで未来を共創する
「キラリと光る エンジニアリング企業」を、
目指してまいります。

14期連続増益！！

～イノベーションで未来を共創する エンジニアリング企業へ～



つづいて、業績目標です。

新・中期経営計画の最終年度である「2024年3月期」の業績目標は、「売上高:170億円」、「営業利益:17億円」と、いたしました。

「50周年」の節目に向け、最高売上高の連続更新と、「14期連続増益」を目指し、事業拡大を図ってまいります。

利益成長型企业へ

- ・ビジネス変革の早期実現
- ・イノベーションへの貢献

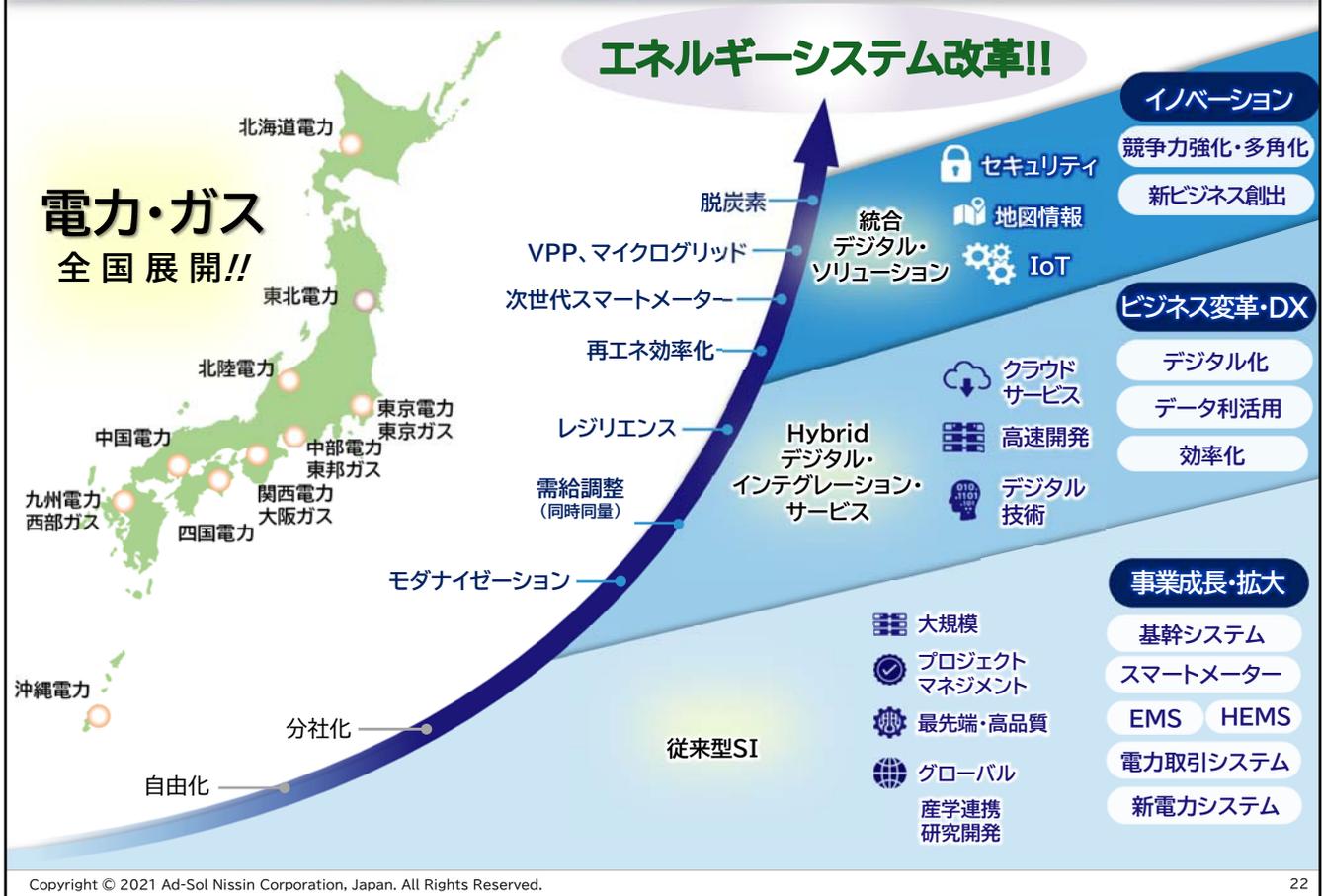


Copyright © 2021 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

21

成長戦略としては、

- ・先ず、「2024年」までの、「中期3か年」では、「Hybrid デジタル・インテグレーション・サービス」の拡大により、お客様の、ビジネス変革の早期実現に貢献してまいります。
- ・次に、「2026年」の「50周年」に向けて、お客様のイノベーションを支える、「統合デジタル・ソリューション」へと進化させ、「創立50周年」のビジョン（売上高：200億円、営業利益率：10%以上）の到達に向け、利益成長型企业として、事業拡大に取り組んでまいります。



次に、重点的に取り組む「エネルギーICT戦略」について、ご説明いたします。
「新・中期3カ年計画」では、今後、ますます需要が見込まれるエネルギー分野(電力・ガス)に、特に注力した戦略を展開してまいります。

特に、電力分野では、「2016年」の自由化や、「2020年」の分社化など、国策による制度対応により、当社は、東京、大阪、福岡を中心に、基幹システムや、スマートメーター、EMS:エネルギー・マネジメント・システム、電力取引システム、新・電力向けシステムなど、幅広い領域で、かつ、大規模な電力システム開発を通じて、お客様に、高いご評価と信頼を頂いております。

今後の、エネルギーICT市場では、電力・ガス共に、脱炭素や、次世代スマートメーター、需給調整(同時同量)や、レジリエンス・老朽化対応など、多くのICT需要と、DXや、IoT、AI、セキュリティを活用した、ビジネス変革の、早期実現ニーズが、高まっています。

これらのニーズに対し、当社は、先ほど申し上げた「Hybrid デジタル・インテグレーション・サービス」と、「統合デジタル・ソリューション」の提供を通じて、お客様のビジネス変革の早期実現と、さらなるイノベーションの創造により全国のお客様の、エネルギーシステム改革に貢献してまいります。

社会インフラ事業

【エネルギー(電力・ガス)】

- ・脱炭素
- ・マイクログリッド
- ・再エネ効率化
- ・モダナイゼーション
- ・レジリエンス
- ・次世代スマートメーター
- ・需給調整(同時同量)
- ・VPP(Virtual Power Plant)

【交通(宇宙、航空、鉄道)】

- ・宇宙(衛星、監視、防災、データ、安全保障)、
- ・航空(空港システム、航空キャリア、デジタル化)
- ・鉄道(運行、整備、MaaS、基幹、発券)

【次世代通信】

- ・ビヨンド5G / 6G、ローカル5G、仮想基地局
- ・量子暗号通信、オープン無線アクセスネットワーク

【公共・防災】

- ・早期復旧、強靱化、減災、都道府県防災



次に、事業戦略をご説明いたします。

先ず、社会インフラ事業では、先ほど申し上げた通り、エネルギー分野での重点的なICT戦略を推進し、脱炭素や、レジリエンスなどのテーマに、積極的に取り組みます。

次に、

- ・宇宙、航空、鉄道の交通領域では、衛星や、航空キャリア、スマート・モビリティ、デジタル化、
 - ・次世代通信領域では、ビヨンド5Gや、6G、量子暗号通信、
 - ・公共・防災領域では、国土強靱化や、減災などのテーマで、
- 持続的成長と、新たな収益基盤の確立に向けた取り組みを、積極展開してまいります。



先進インダストリー事業

【次世代自動車】

- ・モビリティ (CASE、MaaS、V2X、暗号かぎ)
- ・自動運転 (ECU、モーター制御)
- ・EV (EV、誘導モーター)

【メディカル・ヘルスケア】

- ・医療機器 (検査機器、診断装置、関連製品)
- ・医療IT (地域医療、病院・介護施設、電子カルテ、緊急搬送、遠隔医療)

【データ利活用サービス】

- ・デジタル・マーケティング (産業、流通、医療)
- ・ペイメント (キャッシュレス、電子決済、基盤システム)

【Valueソリューション】

- ・5ソリューション (製造、エネルギー、防災、医療、自治体)
- ・キーテクノロジー (セキュリティ、地図情報、IoT)

次に、先進インダストリー事業では、CASE(コネクティッド、自動化、シェアリング、電動化)や、自動運転、EVなどをテーマに、次世代自動車での最先端領域に取り組みます。

また、メディカル・ヘルスケア領域では、地域医療、病院・介護施設、医療機器等、統合的な先進医療・介護システムの提供に取り組みます。

次に、デジタル技術を活用した、データ利活用サービスにより、顧客の効率化や、デジタル・マーケティングに貢献し、流通、産業、決済領域での、新サービス共創に取り組みます。

また、セキュリティ、地図情報、IoTなど、当社独自の革新的なキーテクノロジーを融合させた、Valueソリューションを創造し、デジタル・サービス・プラットフォームとして提供します。



提携戦略

【アドソル・グループの成長】

- ・開発体制の拡充に向けた、資本・業務提携の推進
- ・事業領域の拡大、及び技術力の強化につながるM&Aの展開

【先進ソリューション・サービスの共創】

- ・先進的な技術・サービスを有する企業とのソリューション共創
- ・ソリューションを中核としたビジネス・モデルと協業体制の構築

グローバル戦略

【アジア・アセアン圏での、開発体制拡充】

- ・ICTシステム需要増加対応

アドソル・アジア社（100%子会社）： 海外オフショア開発 推進

グローバル開発拠点： ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）

中国（北京、大連）

【デジタル・イノベーション・サービスの、創造・提供】

- ・国内外向けデジタルサービスの提供



次に、重点戦略をご説明いたします。

まず、提携戦略では、

- ・開発体制の拡充や、事業領域の拡大、技術力の強化につながる資本業務提携やM&Aを通じて、アドソル・グループ全体の成長を図ります。
- ・次に、先駆的な技術やサービス、ソリューションを有する企業との、ビジネスモデルの共創・協業を推進します。

次に、グローバル戦略では、

- ・100%子会社のアドソル・アジア社を中心に、アジア・アセアン圏での開発体制を拡充し、旺盛なICT投資需要に、応えてまいります。
- ・また、新たな取り組みとして、デジタル・イノベーション・サービスを創造し、グローバル展開を図ります。



デジタル戦略

【 新たなキーテクノロジーの創造 】

- ・産学共同 : 早稲田大学(EMS)、慶應義塾大学(GIS:地理情報システム)、立命館大学(セキュリティ、OS)、千葉大学(VR:仮想現実)
- ・研究機関 : 国立研究開発法人 産業技術総合研究所(AI品質、AI効率化)
- ・米国シリコンバレー: SRD:San Jose R&D Center(最先端セキュリティ)

【 オリジナル開発モデルの研究 】

- ・開発モデル : 高速開発 (ローコード・ノーコード)、アジャイル開発
- ・開発スタイル : ロケーション・フリー、多拠点分散開発、プロジェクト管理、高品質
- ・ソリューション化技術 : DX、AI、地図情報、セキュリティ、IoT

コーポレート戦略

【 プロフェッショナル人材の育成 】

- ・高度な専門性:プロジェクト・マネージャー、最先端アーキテクチャー、デジタル・アナリスト
- ・多様性 : 採用、研修、制度

【 ワークスタイル改革の実現 】

- ・働きやすさ : ロケーション・フリー、リモート開発環境、ニューノーマル対応オフィス

【 デジタル・イノベーションの加速 】

- ・ビジネス・プラットフォーム:データ利活用・強化、ロケーション・フリー、リモートワークスタイル



デジタル戦略では、

- ・国内外の大学・研究機関や、他企業との連携・共同研究に加え、100%子会社の、米国サンノゼR&Dセンター(SRD)での、新たなキー・テクノロジーの創造に挑戦してまいります。
- ・また、デジタル社会に向け、先進技術・高速開発技術や、新たな開発モデルの研究に取り組みます。

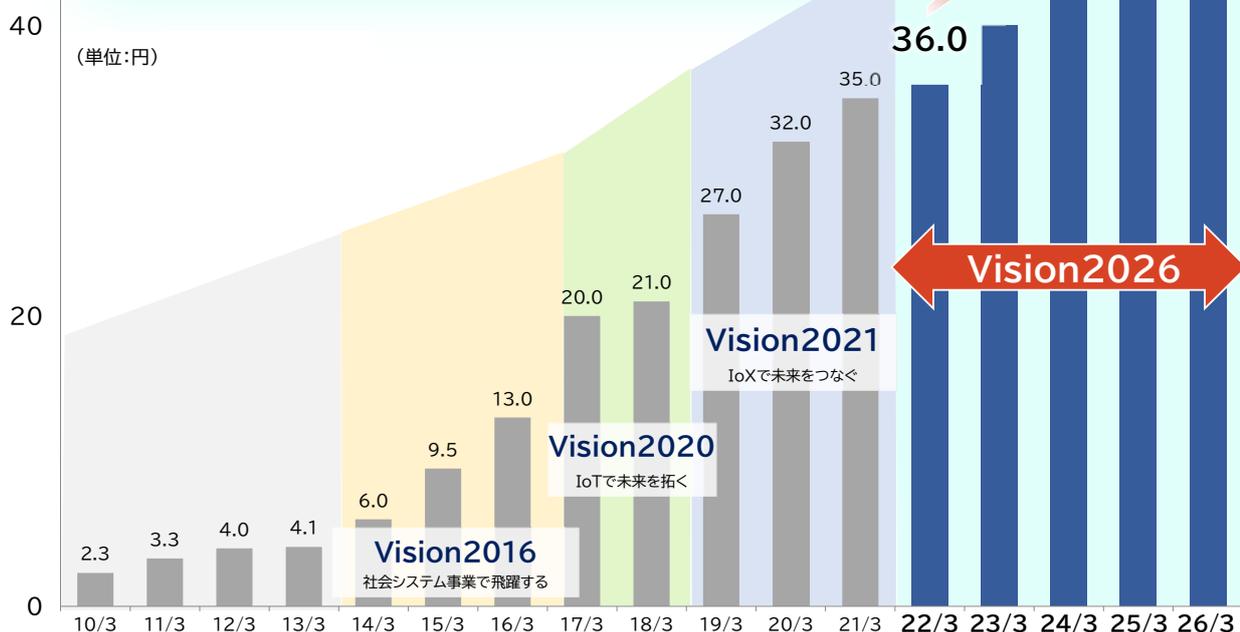
コーポレート戦略では、

- ・事業戦略を支えるプロフェッショナル人材の育成をはじめ、働きやすさや、働きがいを実感できる、ワークスタイルの改革を目指します。
- ・また、多様な働き方を支える社内環境の整備として、ロケーション・フリーの実現や、ビジネス・プラットフォームの再構築により、デジタル・イノベーションを加速させてまいります。

連続増配 継続!!

配当性向: **35%**以上

～イノベーションで未来を共創する エンジニアリング企業へ～



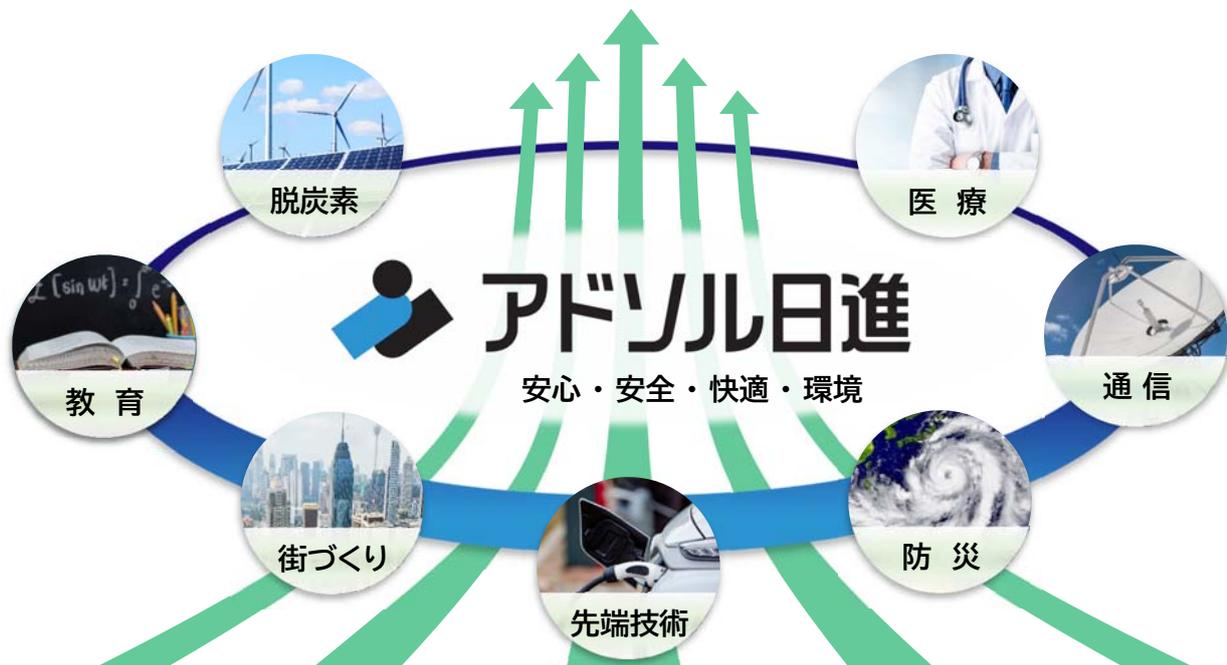
続いて、利益還元方針です。

ご覧の通り、
「2010年3月期」から、「2021年3月期」まで、
「11期連続の増配」を継続してまいりました。

今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、
連続・増配を目指すとともに、
配当性向は、「35%以上」を、還元方針としております。

尚、今期、「2022年3月期」は、
「上期18円」、「下期18円」の、「年間36円」の配当を、
予定しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Copyright © 2021 Ad-Sol Nissin Corporation, Japan. All Rights Reserved.

28

以上が、
「新・中期経営計画」の概要でございます。

今後も、
高付加価値サービスの創造・提供を通じて、
お客様の満足と共に、
持続可能な社会(サステナブルな社会)の実現に、
貢献してまいります。

ご清聴、まことにありがとうございました。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川

TEL:03-5796-3131(代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL:03-5796-3023 メール:ir@adniss.jp